

荒山鍋割山山行記録



展望の広場から荒山



荒山山頂



鍋割山山頂

目的地	赤城荒山～鍋割山	期 日	平成22年1月11日(祝)・晴れ
山人	笠原正雄、中野茂、森山トシ子	特 記	越後も午前から上天気だったようだ。

地名	時刻	記 事
与板発	午前6:30	少し日の出が早くなったが、まだやや薄暗い。届けをYHCポストに投函。
箕輪姫百合P	9:05 発	赤城道路を進めば、標高900mの標識を見る。道路が僅かに所により凍結している。地図上でPの標高は1,020m程である。トイレ・案内板あり。先着2台あり歩きだして行く。車道を横断して木階段の道に入る。土が流れて階段の丸太だけが浮き上がっている。薄く雪が覆っている階段脇の踏み跡を登る。
分岐を左へ		間も無く、荒山高原方向への三叉路。左の階段道へ上がる。こちらは本日我々が最初の通行か、雪に足跡は無かった。枯れ落葉の上の薄い雪を踏めば、カサコソと音をたてる。鹿と思われる足跡がある。
キノコ広場分岐	9:30	右折して案内看板がある。この後山腹を進む斜面道を上り下りするが、雪に覆われた進路は前日のトレースが無ければ悩んでしまうかも知れない。前方右に鍋割山がこんもりと見える。鞍部に小屋らしき物がある。まだ十分に太陽が上げて居ないので、晴れていても寒い。
荒山高原への分岐	9:50	右へ下れば荒山高原。左に上がって展望の広場へ。だんだんと視線が鍋割山と合ってくる。斜面の南北の向きによって地面と雪道が交互となる。
展望の広場	10:20～10:25	ツツジの大株が多い。喬木に囲まれた小広場は名前と違って展望は無い。但し、荒山の全貌が見える。単独男がやって来て先行する。
荒山山頂	11:20～11:10	山頂直前は岩を縫うように登る。2～3箇所、短いロープも設けられていた。どのルートを上がったか聞かなかつたが、前橋からの男女4人隊がランチ中。電波塔が林立する地蔵岳方向は切れているが他は樹林で展望は無い。右に下って10分でひさし岩。緩やかな下りに入ると中野が快速で飛ばして行く。
東屋	11:25	赤城温泉・軽井沢峠分岐。コース脇にちょっと大きいバス停のような東屋。
棚上十字路	11:30～12:40	隣に芝生広場。一段上に高床の東屋。風は無いがやはり寒い。指先が冷たい。腰板に囲まれた東屋のベンチに腰掛けランチ。三平汁を作るが、野菜に味がしみ込むには時間を要するためあまり良い出来ばえでは無かった。むしろ中野持参のキムチ鍋のほうが美味かった。前記の前橋4人隊が追いつき先行して行った。日差しに出れば暖かい。
荒山高原	12:45	広い開放的な広場。ここから鍋割山頂とはピストンとなる。前橋隊は駐車場に下って行ったようだ。別の男女数人隊が鍋割山から下りて来た。荒山へ行くかどうか迷っていた。黒い凍土が解け始めて、ぐちゃぐちゃ道になってきた。
鍋割山	午後 1:20～1:35	途中、右手に谷川連峰を望む。やや霞むが苗場山を同定する。一度前山に上がり鞍部を経て石仏と三角点のある山頂へ。前橋方面の平野と市街地が一望だ。
荒山高原	2:00	単独者が来る。左折して岩を縫う下り道、ここも雪で踏み跡が無ければ迷うところだ。一部トラロープや岩のペイントが進路を導く。
箕輪姫百合P	2:25	上天気になって来た。赤城道路の凍結もほぼ解けていた。
与板着	5:00	赤城ICを通過しR17の永井食堂でモツ煮を買う。昭和ICから高速に上れば、上州武尊、谷川岳に陽が当たり美しい。特に谷川岳は天神尾根・双耳とくっきりと見えた。トンネルを出た後の越後も上天気だった。

新年から雪や雨交じりの日が続いていて、出不精になる。7日は雨模様だったが、午後ようやく弥彦山へ出掛けた。天気予報は連日だるまマークが表示された。この11日だけは曇りでだるまマークが無かったが、晴れの群馬へ向かった。結果的には越後も上天気だったようで、それが分かっていたら群馬まで行かなくても良かったのかも知れない。

周回ルートを取り、4時間半のコースタイムである。もう少し人が入っているかと思っただが、意外と少なく静かだった。季節にはツツジ等の花が豊富らしい。手頃楽しめる山のようなのだ。